

# 視覚・色彩心理学

必修

開講年次：1年次後期

科目区分：講義

単位：2単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：視覚情報は、建築・景観・インテリア・照明・サインデザイン・情報デザイン等において重要な要素である。本科目では、形、光・色彩、奥行き、運動などに関する基本的知識を学習すると共に、多様な条件下において応用できる能力の習得をめざす。また、生活環境との関連性において、視覚情報の、建築・景観・インテリア・照明・サインデザイン・情報デザイン面への効果的活用と計画について考え、理解する。

なお、本科目は建築士受験資格の取得に必要とされる指定科目（その他）である。

■**到達目標**：①形や光・色彩の知覚メカニズムと特性、色彩計画について理解する。  
②形や光・色彩の空間認知に関わる心理的効果について理解する。  
③建築・景観・インテリア・照明・サインデザイン等への応用事例を理解する。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎石井 雅博

■**授業計画・内容**：

- 第1回 色彩の基本：光と色彩、色の三属性（色相・明度・彩度）など
- 第2回 色彩の効果：温度感／大きさ感／重量感／距離感、面積効果、対比効果、ブルキン工現象など
- 第3回 色彩の調和：配色、色彩調和理論、平均演色評価数、加法・減法混色、アクセント効果など
- 第4回 測光と表色システム：分光分布、照度、光度、輝度、マンセル表色系、色相環、色温度など
- 第5回 視覚の時空間特性：視力、明所視・暗所視、グレア、視野、順応など
- 第6回 形の知覚：光の流れ・方向性、反射、印象など
- 第7回 群化：近接・閉鎖・連続・類同など
- 第8回 図と地：背景に対する前景
- 第9回 錯視：長さ・面積・曲線・動き・影
- 第10回 空間の認知：遠近法、パースペクティブ、テクスチャーの勾配など
- 第11回 空間の認知：奥行き、景観の印象、両眼網膜像差、運動視差、臨場感など
- 第12回 空間のシークエンスデザイン：周壁面の光・色の認知、運動知覚
- 第13回 空間のシークエンスデザイン：誘目性／魅力、視線の誘導、眼球運動
- 第14回 建築・景観・インテリア・照明・サインデザインへの応用事例 ①
- 第15回 建築・景観・インテリア・照明・サインデザインへの応用事例 ②

■**教科書**：授業で適宜、デジタル資料・印刷物等を配布します。

■**参考文献**：設計のための建築環境学（彰国社）、生活環境学（井上書院：第4章 光環境と色彩）ほか。

■**成績評価基準と方法**：レポート（30%）、期末テスト（70%）によって評価する。

| 評価方法  | 到達目標   |        |        | 評価基準              | 評価割合 (%) |
|-------|--------|--------|--------|-------------------|----------|
|       | 到達目標 ① | 到達目標 ② | 到達目標 ③ |                   |          |
| レポート  | ◎      | ◎      | ◎      | 各回のポイントを理解していること。 | 30       |
| 期末テスト | ◎      | ◎      |        | ポイントを理解していること。    | 70       |
| 出席    |        |        |        | 2/3以上の出席          | 欠格条件     |

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：建築計画論、環境計画論（主に光環境）、建築デザイン論、その他 建築・景観・インテリア・照明・サイン・インタラクティブ等のすべてのデザインに関連します。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：